

国際交流学部国際交流学科 3 年

留学先: デュッセルドルフ大学(ドイツ)

留学期間: 2024 年 4 月～2025 年 2 月

・留学を通して自分について新たに気づいたこと、成長したこと

海外で一年間生活することが初めてで、何事にもチャレンジする行動力がついたと思いました。例えば、現地の友人をつくるために話しかける勇気を持ったり、言葉の壁を乗り越えながら交流したりする中で、自分の行動が少しずつ成果につながることを実感しました。

・言語について

言語を学ぶことは大切なことだと思いました。ドイツでの日常生活はドイツ語を用いることは当たり前ですが、ほかの留学生との交流には英語が用いられる機会が多々あり、言語を習得するに越したことはないと感じました。

・留学中に意欲的に取り組んだこと、その成果

まずは、ドイツ語の取得です。最初のころは授業についていくのが難しく、日常生活でも自分の考えを上手く伝えられず、悔しい思いをしました。しかし、積極的にドイツ語を使おうと決め積極的に質問することや、ドイツ語で日記を書くことを習慣にしました。最初は簡単な表現しか使えなかったドイツ語も少しずつ語彙が増え、より自然な文章を書くことができるようになりました。

また、異文化交流も留学中の大きな学びとなりました。例えば、「時間の概念」について話し合った際、日本では時間厳守が重視される一方、南米の学生は「人との関係を大切にするため、多少の遅れは問題にならない」と考えていることを知り、文化によって時間の捉え方が異なることに驚きました。一方で、私は日本の文化や習慣について深く考えたことがなかったため、他の留学生のように自分の国の価値観を説明したり、自分の考えを主張したりすることが難しかったです。この経験を通じて、自分の考えを持ち、それを言葉にして伝えることの重要性を痛感しました。

